福井県

# 診断士資格が要件に
## 技術の差別化効果も

福井県コンクリート診断士会
石川裕夏会長

――日常業務の中で診断士資格をどのように活用しているか。

「福井県では業務を行ううえでコンクリート診断士資格を必要とするものがある。橋梁長寿命化修繕計画策定業務ではコンクリート構造物診断技術者として、コンクリート診断士を必須としている。このほかにも橋梁詳細調査業務やトンネル打音検査業務などでもコンクリート診断士の資格が要件化されており、診断士資格が活用できる状況にあるため、資格を保有していることによるメリットや優位性を確保できている。また、施工時に初期ひび割れが生じた場合にはコンクリート診断士によるひび割れ診断報告書の提出が義務付けられており、資格保有者は報告書の作成業務を行うことも多い」

――生コン製造者が診断士資格を持つことで得られるメリットは。

「コンクリートの耐久性を確保するための視点や維持管理を考慮した視点を生コンの製造技術に生かすことができる。技術的視野も広がるほか、製造時の意識も変わる。自社が出荷する生コンの品質保証にも役立つうえ、生コン購入者である施工者に安心感や信頼をもたらし、他社との技術的な差別化を図ることもできると考えている」

## 技術のスペシャリスト
## 地域特性の熟知

――福井県コンクリート診断士会の最近の取り組みについて。

「診断士としての資質向上を目的に年5回程度の研修会を継続的に行っている。昨年度は『下水道施設におけるコンクリート構造物の腐蝕と防食技術』や『人のためのコンクリートを目指して』をテーマに研修会を実施。北陸自動車道の補修工事や青戸の大橋の電気防食工事の現場見学会も行った。さらに、福井県建設技術公社が主催する診断士資格の取得を目指すセミナーを後援し、診断士会から講師を派遣した。官公庁に対する協力や協働事業も積極的に行っている。福井県橋梁長寿命化修繕計画策定委員会に委員を派遣したほか、福井市や鯖江市の橋梁長寿命化計画策定委員会にも委員を派遣するなど技術的な支援を行っている」

「コンクリート構造物の維持管理の基本的な考え方として、地域のコンクリート構造物はその地域で維持管理をする必要がある。それはコンクリート構造物そのものが地域の材料を使用しているほか、地域の自然環境や地理条件の影響が大きい。全国共通の基本的な技術や知識・情報に加えて、地域性の高い技術知識が必要かつ重要となる。その地域の特性をよく知るコンクリート診断士が地域のコンクリート構造物の維持管理の技術スペシャリストとして中心になっていくことが求められていくだろう」

――コンクリート診断士試験合格のためのポイントは。

「全国各地区のコンクリート診断士会が主催している研修会に参加することや日本コンクリート診断士会、福井県コンクリート診断士会が行っているコンクリート診断士試験受験者のためのセミナーに参加することが合格への近道だと思われる」